



スポーツ庁

# テーマ別最終報告 (テーマ1～14)

---

## テーマ

## 【学業充実】 入学前からの動機付け

### <最終報告>

事業案	<p>&lt;2019年度内&gt; UNIVASは、各大学が入学前教育プログラム(任意)を作成する際に、要請に応じて入学前教育のステージに合わせた教育プログラムのひな形を提供します。</p>
事業の意義	<ul style="list-style-type: none"> <li>UNIVASが大学の行っている運動部学生・推薦入試学生向けへの入学前教育のステージに合わせた教育プログラムのひな形を提供することで各大学は効果的な入学前教育の推奨プログラムを入学前教育の参考とすることができる</li> <li>入学前教育を行っていなかった大学にとっては実施のスタートポイントとすることができる</li> <li>全国のUNIVAS加盟大学における事例の情報を得ることができる。先進的な取り組みの情報が共有されることで各大学にとっての底上げが期待できる</li> </ul>
加盟大学・競技団体が2019年度より実施する事項	該当なし
担当部署	学業充実委員会－学業支援部会(仮)
開始時期	2019年4月1日から
今年度成果物	入学前教育プログラムLv.1のリファレンスモデル

## テーマ

## 【学業充実】 入学前からの動機付け

<添付資料>

### UNIVASが考える入学前教育(案)

#### プログラムイメージ

##### アドバンスドプログラム

目的:アスリート教育の導入

- 目標: 1)スポーツを科学的に捉えることができる。  
2)スポーツを科学的に学修する準備ができる。

##### 運動部学生プログラム

目的:スポーツの教育と運動部学生の理解

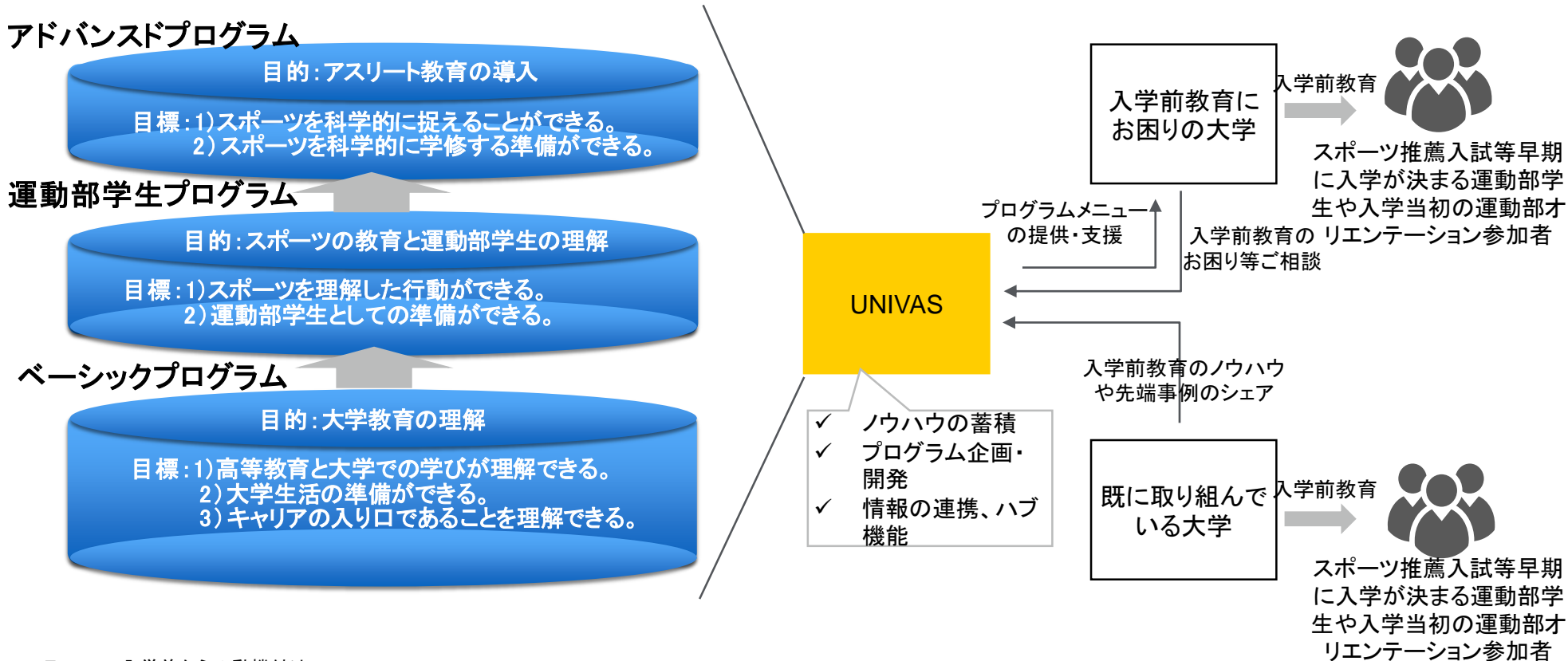
- 目標: 1)スポーツを理解した行動ができる。  
2)運動部学生としての準備ができる。

##### ベーシックプログラム

目的:大学教育の理解

- 目標: 1)高等教育と大学での学びが理解できる。  
2)大学生活の準備ができる。  
3)キャリアの入り口であることを理解できる。

#### 対象やスキームのイメージ



## テーマ

## 【学業充実】学修機会確保

### <最終報告>

事業案	<p>&lt;2019年度内&gt; 大会日程を確認できるカレンダーを公表することで、大学関係者や学生の学事日程作成に寄与し、周辺関係者が応援する文化醸成にも役立てます。なお、初年度は競技日程カレンダー作成に主眼をおき、試合と学事日程との重複の状況についてはUNIVASで把握する事を目標にします。 (※指導者研修については、テーマ8をご参照)</p>
事業の意義	<p>競技団体において、大学の学事日程を一括して入手できる。学生が抱える「欠席による学業への不安」を将来的にさらに軽減できる</p>
加盟大学・競技団体が2019年度より実施する事項	<p>大会日程にかかる情報共有(対象:大会日程・・・競技団体)</p>
担当部署	<p>学業充実委員会－学業支援部会(仮)</p>
開始時期	<p>(1) 2019年4月1日以降にUNIVASカレンダー策定から開始 (2) 2022年4月1日以降を目標に調整できる制度や体制を整備</p>
今年度成果物	<p>【日程調整】 競技日程を集約した上WEB上・紙媒体で公表する方法の確立 学生意識調査の素案(平成31年度実施を検討) 【指導者セミナー】 指導者セミナー実施方針案(*テーマ8と合わせて実施する現場指導者向けセミナー)</p>

## テーマ

## 【学業充実】 学修機会確保 UNIVASカレンダー

### ＜添付資料＞

### UNIVASカレンダー（イメージ）

Filters Applied: SUBMIT CONTENT | MEDIA CENTER | JCAA.COM Search

**NCAA** All Season: All About Us All Student-Athletes Division I Division II Division III My Apps

Championship Event	Date	Facility	City	State
2018-19 DII Men's Lacrosse Semi-Finals	05/19/2018-05/19/2018	(TBD - 2 sites)	(TBD)	(TBD)
2018-19 DII Baseball Super Regionals	05/24/2018-05/26/2018	(TBD - 8 sites)	(TBD)	(TBD)
2018-19 DII Men's Soccer Regional	05/27/2018-05/27/2018	Lincoln Financial Field	Philadelphia	PA
2018-19 DII Women's Soccer Automatic Qualifier Date	11/04/2018-11/04/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DIII Women's Volleyball Automatic Qualifier Date	11/04/2018-11/04/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DI Women's Soccer Automatic Qualifier Date	11/04/2018-11/04/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DI Field Hockey Automatic Qualifier Date	11/04/2018-11/04/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DIII Women's Soccer Automatic Qualifier Date	11/04/2018-11/04/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DI Field Hockey Selection Date	11/04/2018-11/04/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DIII Field Hockey Automatic Qualifier Date	11/04/2018-11/04/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DIII Men's Soccer Automatic Qualifier Date	11/04/2018-11/04/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DII Men's Soccer Automatic Qualifier Date	11/04/2018-11/04/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DIII Field Hockey Selection Date	11/04/2018-11/04/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DI Women's Soccer Selection Date	11/05/2018-11/05/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)
2018-19 DII Men's Soccer Selection Date	11/05/2018-11/05/2018	(N/A)	(N/A)	(N/A)

米国NCAAのWebスケジュール検索画面

大会日程を集約した紙面版・WEB版のカレンダーを作成し、いつでも会員が検索できるようにします。



## テーマ

## 【学業充実】 成績管理・対策、さらなる動機付け

### <最終報告>

事業案	<p>&lt;2019年度以降&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学業とスポーツに励む卓越した人材を輩出するため、学生アスリートが習得すべき学業の基準を提案します。</li> <li>詳細な制度設計については、数大学による実証事業で可能性を検討します。</li> </ul> <p>(※さらなる動機付けとしての表彰制度については、テーマ9をご参照)</p>
事業の意義	<ul style="list-style-type: none"> <li>学業についていけない学生へ指導體制を整備することで、留年・退学者等の減少</li> <li>運動部学生への勉学・学修への意欲付け</li> <li>学業に励み優れた学修能力を得て、競技を通じて人格形成やリーダーシップなどを体得した卓越した人材の輩出</li> </ul>
加盟大学・競技団体が2019年度より実施する事項	2022年3月までは実証期間として加盟大学・競技団体の協力を得ながら基準案や運用規程を定める
担当部署	学業充実委員会－学業支援部会(仮)
開始時期	2022年3月までは実証期間として加盟大学・競技団体の協力を得ながら基準案や運用規程を定める)
今年度成果物	<p>【成績管理】</p> <p>参照する統一基準素案並びに平成31年度実証事業実施方針書(案)</p> <p>【さらなる動機付け】</p> <p>平成31年度表彰実施要領(案)</p>

## テーマ

## 【学業充実】 成績管理・対策、さらなる動機付け

### <添付資料>

2019年4月～

2022年4月～

2019年度については、限定した数大学のみで実証実験

学業基準設定のための  
実証事業

学業基準に基づく出場制限の実施  
及びこれに伴う体制構築  
(情報提供、意思決定プロセスの整備)

2022年3月までは、実証期間として  
加盟大学・競技団体の協力を得ながら  
基準案や運用規程を定めます。

### 現時点での成績基準に関する検討方針

- ✓ 成績基準を設けるかどうかについては、加盟大学・団体と共に2022年3月までに方針や運用規程を定めていきます
- ✓ 成績基準を導入する場合、大前提として大学が成績基準を導入するか**否か**を決定することと、併せて学生からの合意を得る事が必須であると認識しています
- ✓ また、UNIVAS基準だけを正とするものではなく、大学が独自に取り組んでいる(予定含む)成績基準や運用について妨げるものではありません
- ✓ 一方、今年度実施のアンケートにて学業基準を導入済み大学は回答の1割程度であると確認されたため、今後検討される大学等からの協力を得ながら運用する場合の適切な規程や参照モデルなどを実証等を通じて確立し、発信していく予定です

### <成績基準案>

SAMPLE	取得すべき 単位数 (基準)	勧告対象となる 取得単位数	出場停止となる 取得単位数
2年開始時	25単位	24~20単位	19単位以下
3年開始時	60単位	59~50単位	49単位以下
4年開始時	90単位	89~80単位	79単位以下

## テーマ

## 【学業充実】 キャリア支援

### <最終報告>

事業案	<p>&lt;2019年度以降&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学生アスリートの「デュアルキャリア支援」の担当部署を明確にして、担当者の配置 →「JSCキャリアデザインアドバイザー育成研修」の受講生を配置することが望ましい</li> <li>② キャリア講習の実施と参加しやすいシステムの構築</li> <li>③ 指導者セミナーの実施→「JSCデュアルキャリア教育プログラム(指導者向け)」等と→ キャリア講習の実施と参加しやすいシステムの構築の連携の実施が望ましい</li> <li>④ UNIVASと学生アスリート保護者への報告・情報提供(キャリア支援活動報告、学生アスリートの就職率情報ほか)</li> </ul>
事業の意義	<ul style="list-style-type: none"> <li>① スポーツキャリア教育、デュアルキャリア形成を理解し、効果的なプログラムを展開する人材が育成・確保できる</li> <li>② 学生アスリート対象のキャリア教育機会が確保され、デュアルキャリア形成支援が推進できる</li> <li>③ 指導者のデュアルキャリアの理解と支援が推進できる</li> <li>④ UNIVASをハブとした会員大学との情報共有ができる キャリア教育への保護者の支援が期待できる</li> </ul>
加盟大学・競技団体が2019年度より実施する事項	該当なし
担当部署	学業充実委員会ーキャリア支援部会(仮)
開始時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>①2022年3月までに完了</li> <li>②2022年3月までに1回以上実施、2022年4月からは毎年実施(案)</li> <li>③2022年3月までに1回以上実施、2022年4月からは毎年実施(案)</li> <li>④2019年度に2018年度の情報を提供し、以後は年次報告を行う</li> </ul>
今年度成果物	UNIVASによる情報収集・提供のフロー(案)



## テーマ

## 【学業充実】 キャリア支援

### <添付資料>

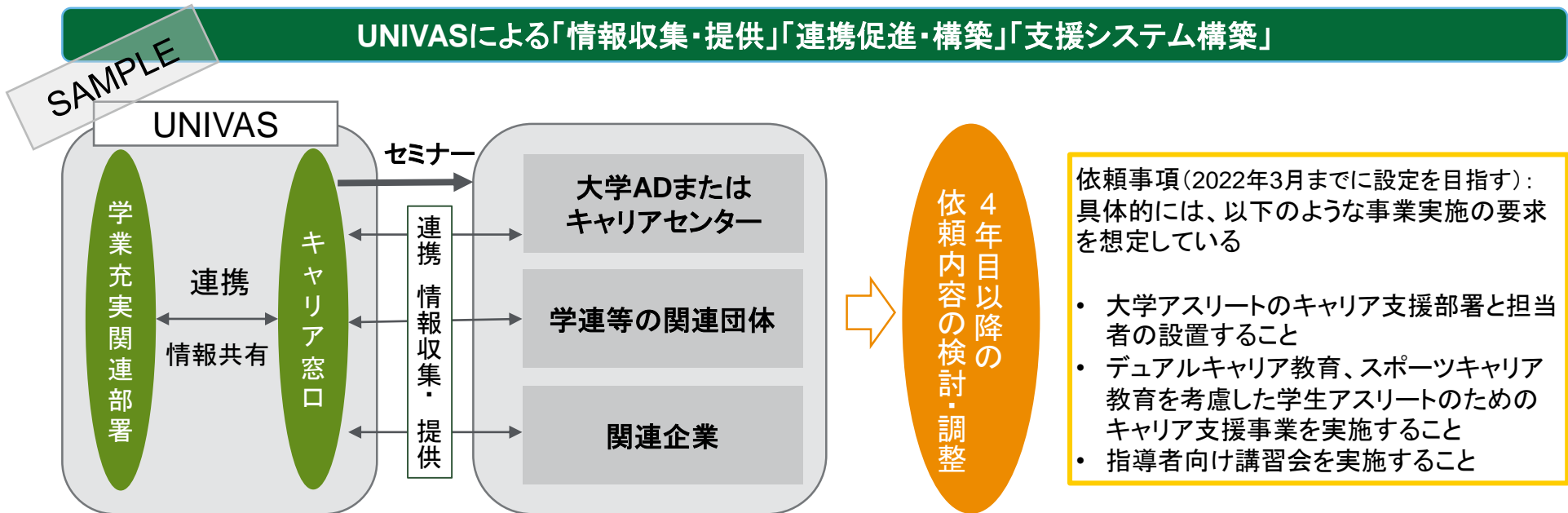
#### UNIVAS が提供するサービス

- UNIVASにキャリア支援窓口の設置
- 会員大学のキャリア支援に関する情報の収集と提供
- 学生アスリートへの有用な情報の提供
- 企業・団体との連携構築
- 会員大学対象のセミナーの実施
- 2022年以降の依頼事項と内容の検討と調整

#### 2022年3月までのマイルストーン

- UNIVAS内のシステム整備、会員大学からの情報収集・提供、学生アスリートへの情報提供、各大学におけるキャリア支援システム構築の支援を行う
- 計画的にセミナー等を開催し、会員大学をサポートするとともに、2022年4月から施行する依頼事項とその内容を検討し、決定する

### UNIVASによる「情報収集・提供」「連携促進・構築」「支援システム構築」



## テーマ

## 【安全安心・医科学】 事故情報の集約化

### <最終報告>

事業案	<p>&lt;2019年度以降&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① UNIVASが中心となり、各大学・各競技団体の活動中に発生した重大事故を把握する</li> <li>② UNIVASが保険データにおける事故情報を集約し、これを統計的に分析したものを関係者へ提供する</li> <li>③ 大学・競技の枠を越えたスポーツ障害予防研究のコーディネート役をUNIVASが実施する</li> <li>④ UNIVASと大学・競技団体が協力して学生の保険加入の推進し、また、UNIVASが新たな保険制度の構築を検討する</li> </ul>
事業の意義	<p>大学・競技団体・保険会社の協力のもと、大学スポーツ全体の事故の発生状況やその背景をUNIVASが集約し、これを研究機関と共有することで、具体的な事故予防策の構築が可能となり、大学スポーツ全体の安全性を向上させることができる(①②③)。また、保険加入状況の実態を把握し、これを改善するための取り組みを共同して実施すること、そして、現場のニーズに適合したあらたな保険商品を開発することで、学生が安心してスポーツに取り組める環境を確保することができる(④)。</p>
加盟大学・競技団体が2019年度より実施する事項	<p>該当なし</p>
担当部署	<p>安全・安心委員会ースポーツ医・科学部会(仮)</p>
開始時期	<p>①④UNIVASの社員総会において承認された日から ②③2020年4月以降運用開始</p>
今年度成果物	<p>重大事故の報告内容とフォーマット案</p>

## テーマ 【安全安心・医科学】 共通ルールの設定

### <最終報告>

事業案	<p>&lt;2019年度内&gt;                  全ての競技に共通する安全・安心のガイドラインを策定することで、安全で、安心な大学スポーツの環境を確保するために必要な知識を共有します。</p>
事業の意義	<p>加盟団体が当ガイドラインを最低限遵守することで、大学スポーツの安全安心に対する意識のレベルが底上げされ、その品質を一層向上させることができるため、大学スポーツ全体の信頼性を確保することができます。加えて、競技横断的なガイドラインを発行することは、競技間の情報交換を誘発し、現場にいる学生や指導者等の安全安心に対する意識をより一層向上させることも期待されます。また、十分なガイドラインをもたない団体にあつては、整備に必要なコストをかけることなく、安全安心に対する意識のレベルを向上させることができます。</p>
加盟大学・競技団体が2019年度より実施する事項	<p>UNIVASが定める安全安心ガイドラインの遵守(対象:大学・競技団体)                  →チェックリストを活用し、実施できていない事項については、UNIVASが定める「安全安心ガイドライン」を参考に改善をすすめる</p>
担当部署	安全・安心委員会ースポーツ医・科学部会(仮)
開始時期	UNIVASの社員総会において承認された日から
今年度成果物	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 「安全安心ガイドライン」</li> <li>② ガイドライン適用にかかる「チェックリスト」</li> <li>③ 安全安心ガイドライン将来的な骨子案</li> </ul>

## テーマ 【安全安心・医科学】 共通ルールの設定

### ＜添付資料＞

区分	項目
1. 全般事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドラインの位置付け</li> <li>・組織体制</li> <li>・重大事故の要因と発生のメカニズム</li> <li>・指導者の責任と安全配慮義務</li> <li>・安全安心のための体制確保</li> </ul>
2. 個別事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頭部外傷(予防策と事後の対処)</li> <li>・頸部損傷(予防策と事後の対処)</li> <li>・熱中症(予防策と事後の対処)</li> <li>・心停止(予防策と事後の対処)</li> </ul>
3. 安全具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全具の効用と適切な使用</li> <li>・ヘルメット、ヘッドガード</li> <li>・マウスガード</li> </ul>
4. 施設、設備、環境の安全点検	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設、設備の安全点検</li> <li>・医療機関との連携</li> <li>・適切な連絡経路の確保</li> <li>・AEDの設置</li> <li>・WBGTの設置</li> <li>・EAPの策定</li> </ul>

ガイドライン  
に基づく  
「チェックリスト」

チェックリストを用いたセルフ  
チェックを実施した結果、不十分  
と判定された対策は、ガイドライ  
ンに従い改善することで対策を  
強化することができます  
(UNIVASへのチェックリストの  
提出は不要です)

テーマ

## 【安全安心・医科学】ガバナンス体制の構築、ハラスメントや暴力等に関する相談・対応体制の構築

### <最終報告>

事業案	<p>&lt;2019年度内&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談窓口の設置により、パワハラ等の問題事案の迅速な解決を図ります。</li> <li>・ UNIVASは、加盟大学・加盟競技団体と連携・協力しつつ、事実確認、問題解決等に当たります。</li> </ul>
事業の意義	UNIVASの相談窓口が設置されることで、大学や競技団体には相談しにくかった学生の相談先を確保することができます。
加盟大学・競技団体が2019年度より実施する事項	UNIVASに届いた相談事案の解決に向けた協力(対象:大学・競技団体)
担当部署	特別委員会－規律委員会(仮)
開始時期	2019年4月1日より運用開始
今年度成果物	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 相談窓口の運営にかかる実施要領</li> <li>② 相談窓口の利用にかかる案内</li> </ol>

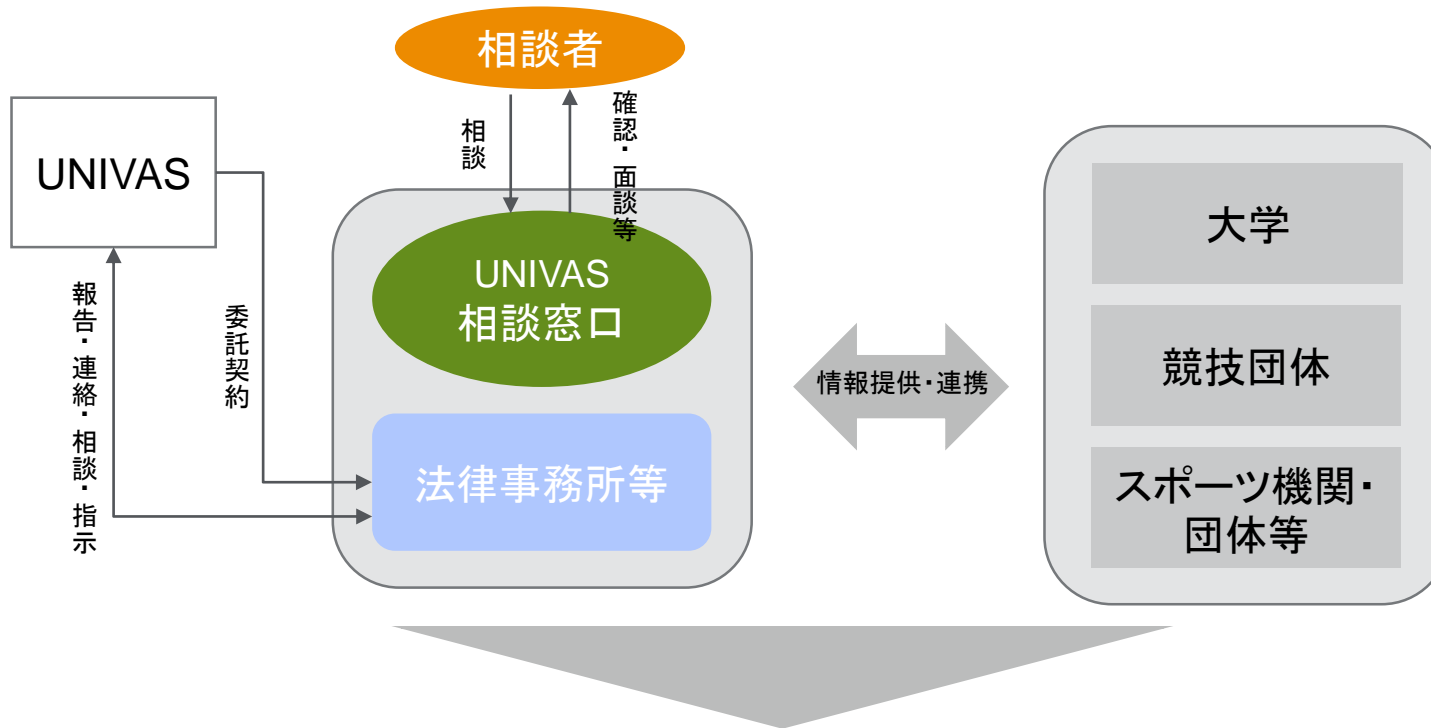
## テーマ

【安全安心・医科学】 ガバナンス体制の構築、ハラスメントや暴力等に関する相談・対応体制の構築

<添付資料>

### UNIVASにおける相談窓口のフロー図(イメージ)

\* 個人情報保護に配慮しながら、迅速・的確な問題解決への支援を行なうため、大学等と連携



UNIVAS、加盟団体、法律事務所等が協力して問題を解決

## テーマ

## 【安全安心・医科学】 指導者研修

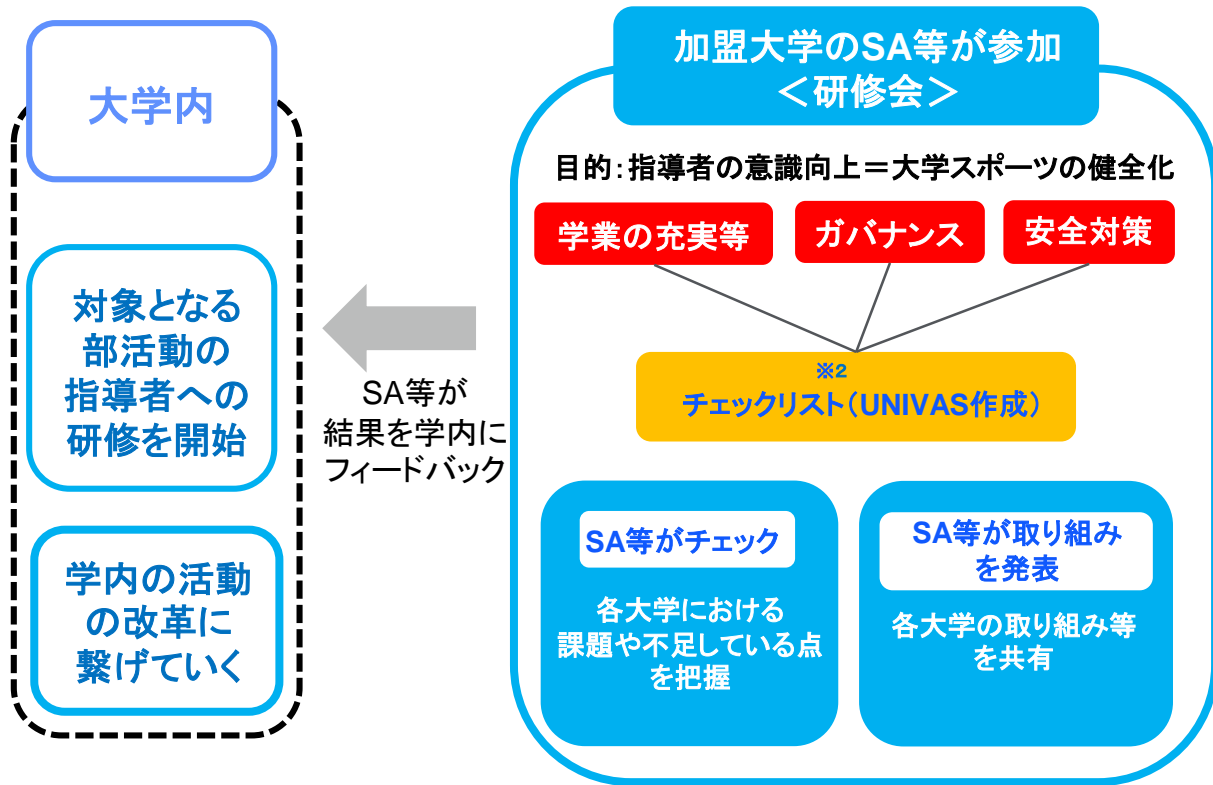
### <最終報告>

事業案	<p>&lt;2019年度内&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①SA等を介した大学スポーツ健全化を目的とした研修②UNIVAS主催の指導者に対して行うUNIVASの理念に関する研修③関係団体とも連携したスポーツ指導者の資質向上のための研修を実施する。</li> <li>2019年度は、年2回の研修で①、②を実施するとともに、③のプログラム策定のための検討を行う</li> </ul>
事業の意義	<p>大学を起点とした「部活動の健全化」について方法論や実現プロセスを理解でき、また、大学間のコミュニケーションを頻繁に行うことができる。</p> <p>指導者の育成手段をもたない大学や指導者ライセンス制度をもたない競技団体は、UNIVASの指導者育成プログラムを活用することで、指導者の育成に繋げることができる。</p>
加盟大学・競技団体が2019年度より実施する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>UNIVAS研修会への参加(対象:大学)</li> <li>指導者の把握及び名簿作成(対象:大学、競技団体)</li> </ul>
担当部署	安全・安心委員会ーインテグリティ部会(仮)
開始時期	①②2019年度より運用開始／③UNIVASの社員総会において承認された日から
今年度成果物	チェックリストの素案、指導者名簿案

## テーマ 【安全安心・医科学】 指導者研修

### <添付資料>

#### 第1回目(上記①)(イメージ)



#### 第2回目(上記②)(イメージ)

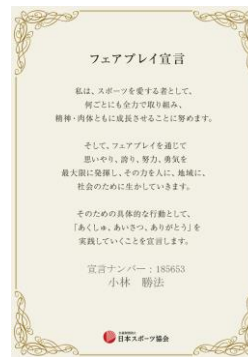
(注)SA等は可能な限り参加(1回目のチェックリストの進捗確認や共通の課題解決が議題予定)。指導者は任意参加。

### 1. 指導者倫理(コーチング哲学)

- ①責任と危機管理
- ②コーチング哲学・信念
- ③フェアプレイ精神

### 2. 学業・アスリート教育の重要性

- ①単位制度の厳格化
- ②デュアルキャリア支援の必要性
- ③人間教育・スポーツパーソンシップ教育



※1 SA等: 「SA」=スポーツアドミニストレーター。学内でのスポーツ活動のコーディネーター、資金調達等を担う者。スポーツ庁は各大学に配置を推奨し、配置支援事業も実施しているが((今年度実績)採択大学への支援は単年度700万円等)、UNIVAS加盟大学が必ずしもSAを配置しなければならないわけではない。なお、配置にあたり学外の人材登用も可。「等」には、体育会本部代表、競技スポーツセンター所長、学生部長といった大学における部活動を代表するものが含まれる。

※2 各クラブの部長の決定方法・役割の規程の有無など、どのような大学でも共通する普遍的な項目を想定



## テーマ

## 【事業・マーケティング】 大会レギュレーションの整備

### <最終報告>

事業案	<p>&lt;2019年度内&gt;</p> <p>① 運動部学生への勉学・学修への動機付け、安全・安心な競技環境の確保および大学スポーツの活性化のため、UNIVASが表彰を実施します。</p> <p>② 各競技団体に開催されている既存の大会の枠組はそのままに、競技成績に応じたポイントを付与することで、競技横断的な大学対抗戦を実施します。</p>
事業の意義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 顕彰制度や大会を通じて、大学のブランディング、競技の普及を後押しすることが可能</li> <li>・ また、これらを通じて、大学スポーツの活性化・振興に寄与することが可能</li> </ul>
加盟大学・競技団体が2019年度より実施する事項	表彰及び競技横断的な大学対抗戦に関する情報(競技成績・競技者数等)の共有(対象:大学・競技団体)
担当部署	①特別委員会—表彰委員会(仮)、②事業運営委員会—大会運営部会(仮)
開始時期	①、②ともに2019年度より開始(2019年度は範囲・対象を限定した形での実施)
今年度成果物	<p>① 表彰制度:2019年度からの実施に向けた表彰項目案および表彰基準案</p> <p>② 競技横断的な大学対抗戦:2019年度からの開催に向けたレギュレーション案</p>

## テーマ


## 【事業・マーケティング】 大会レギュレーションの整備

<添付資料>

ポイントの付与方法(案)

- UNIVASへの加盟競技を対象に、加盟大学数・競技者数等を基準に総ポイントを配分
- 各競技に割り当てられた総ポイントを、既存の大会の競技成績に応じ、加盟大学へ付与

### 競技横断的の大学対抗戦の開催イメージ

	順位	年間総合ポイント	競技a	競技b	競技c	競技d	...	...
A大学 	1	XXX pt	XXX pt	XXX pt	XXX pt	XXX pt		
B大学	2	XXX pt	XXX pt	XXX pt	XXX pt	XXX pt		
C大学	3	XXX pt	XXX pt	XXX pt	XXX pt	XXX pt		
D大学	4	XXX pt	XXX pt	XXX pt	XXX pt	XXX pt		
E大学	5	XXX pt	XXX pt	XXX pt	XXX pt	XXX pt		
...								
...								

年間総合ポイントでランキング

競技毎に競技成績に応じてポイントを付与

- 総合的なスポーツ力を評価
- 国立・私立等の形態や学生・運動部数等など複数のカテゴリーによるランキングも検討

- 競技横断的であるため、学生に対し自らが所属する運動部以外の競技に対しても関心を喚起

## テーマ

## 【事業・マーケティング】 大会レギュレーションの整備

### ＜添付資料＞

#### 設立初年度から実施する表彰項目(案)

#	表彰項目案	内容	表彰対象者	理念との関連
1	学修機会確保に関する優秀取組賞 (Academic Opportunity Award)	学修機会の確保に関する先進的取組事例を表彰	大学(統括部局)・ 指導者・競技団体	学修機会確保
2	学業・スポーツ両立学生賞 (Best Scholar-Athlete Award)	文武両道を実践する模範となる運動部学生を表彰 (競技成績上位+GPAや履修単位数の基準)	学生個人	成績管理・対策 動機付け
3	成績管理・対策に関する優秀取組賞 (Academic Support Award)	成績管理・対策に関する先進的取組事例を表彰	大学(統括部局)	成績管理・対策 動機付け
4	OB・OG賞 (Great Alumni Award)	卒業後の競技成績や社会貢献等を通じて、現役運動部学生 の模範/大学スポーツの価値向上に寄与したOB・OGを表彰	OB・OG	キャリア支援
5	安全確保に関する優秀取組賞 (Safety Award)	安全対策に関する先進的取組事例を表彰	大学(統括部局)・ 指導者・競技団体	競技の安全性保障
6	指導者賞 (Best Coaches Award)	人材育成や競技力向上の面で優れた取組みや実績を残した 指導者を表彰	指導者	人材育成 競技力向上
7	競技横断的大学対抗戦表彰 (College of the Year)	競技横断的大学対抗戦における年間総合ポイント上位の大学 を表彰	大学	大会・競技活性化 競技力向上
8	優秀選手・チーム賞 (Sportsperson of the Year)	卓越した競技成績を残した運動部および運動部学生個人を表彰	運動部・ 学生個人	大会・競技活性化 競技力向上
9	大会プロモーションに関する優秀取組賞 (Best Promotion Award/Best Idea Award)	大会・競技の普及や活性化、集客・応援促進のための大会プロ モーションに関する優良取組事例を表彰	競技団体・大学(統括 部局)・運動部	大会・競技活性化 競技力向上
10	スポーツ統括部局/SA賞 (Athletic Department Award /Contribution Award)	地域・社会貢献活動、会計の透明性確保、スポンサーとの連携、 試合情報の管理・発信、キャリア支援等大学スポーツ振興に向けた各種の優良取組事例を表彰	大学(AD局) SA個人	ガバナンス強化 コミュニティ活性化 地域・社会貢献

## テーマ

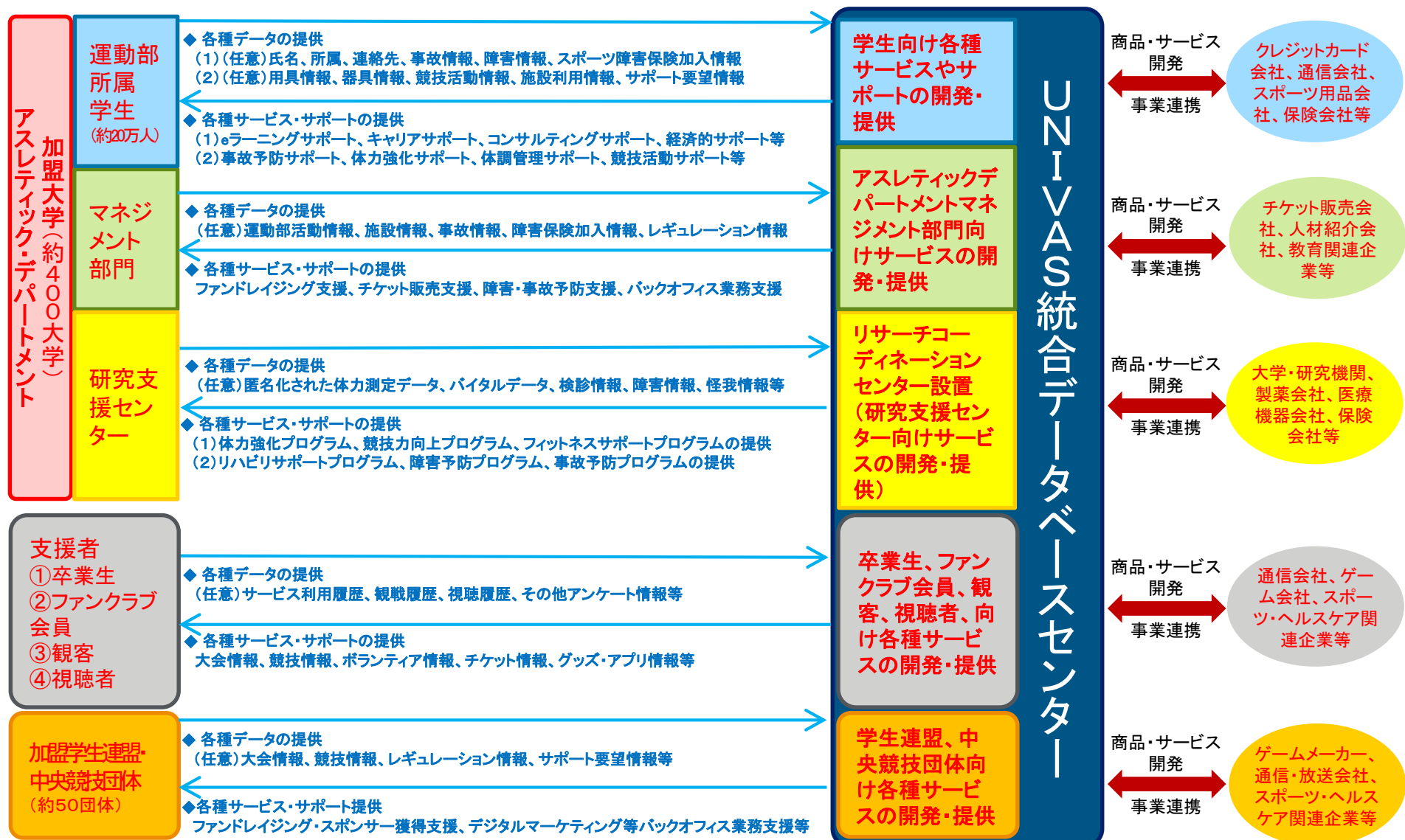
## 【事業・マーケティング】 個別データの管理・活用

### <最終報告>

事業案	<p>&lt;2019年度以降&gt;                  運動部所属学生の個人データをUNIVASに集約し、スポーツ科学に関する研究に活用する。各大学におけるデータ管理・活用を促進するため、加盟大学は学内に研究支援センターを設置する。また、UNIVASにリサーチ・コーディネーションセンター(仮称)を設置し、UNIVAS全体としてのデータ利活用や研究プロジェクト組成等の取りまとめを行う。</p>
事業の意義	<p>各大学の研究支援センターは、UNIVASのリサーチ・コーディネーションセンター(仮称)と連携し、スポーツに関する様々な研究を(必要に応じて他の加盟大学等と連携して)促進する。具体的には、研究成果を活用し、学生アスリートに対する怪我・事故予防のサポート、フィットネスサポート、競技力向上サポート、体力強化サポート、体調管理サポートを行うことを目指す。また、これらの研究を促進するための外部資金の獲得等も目指す。</p>
加盟大学・競技団体が2019年度より実施する事項	<p>運動部学生の把握及び名簿作成(対象:大学、競技団体)</p>
担当部署	<p>事業運営委員会ーリサーチ・コーディネーション・センター(仮)</p>
開始時期	<p>2019年4月より設置可能な大学は研究支援センターを順次設置する。</p>
今年度成果物	<p>個別データの管理・活用にかかる体制案</p>

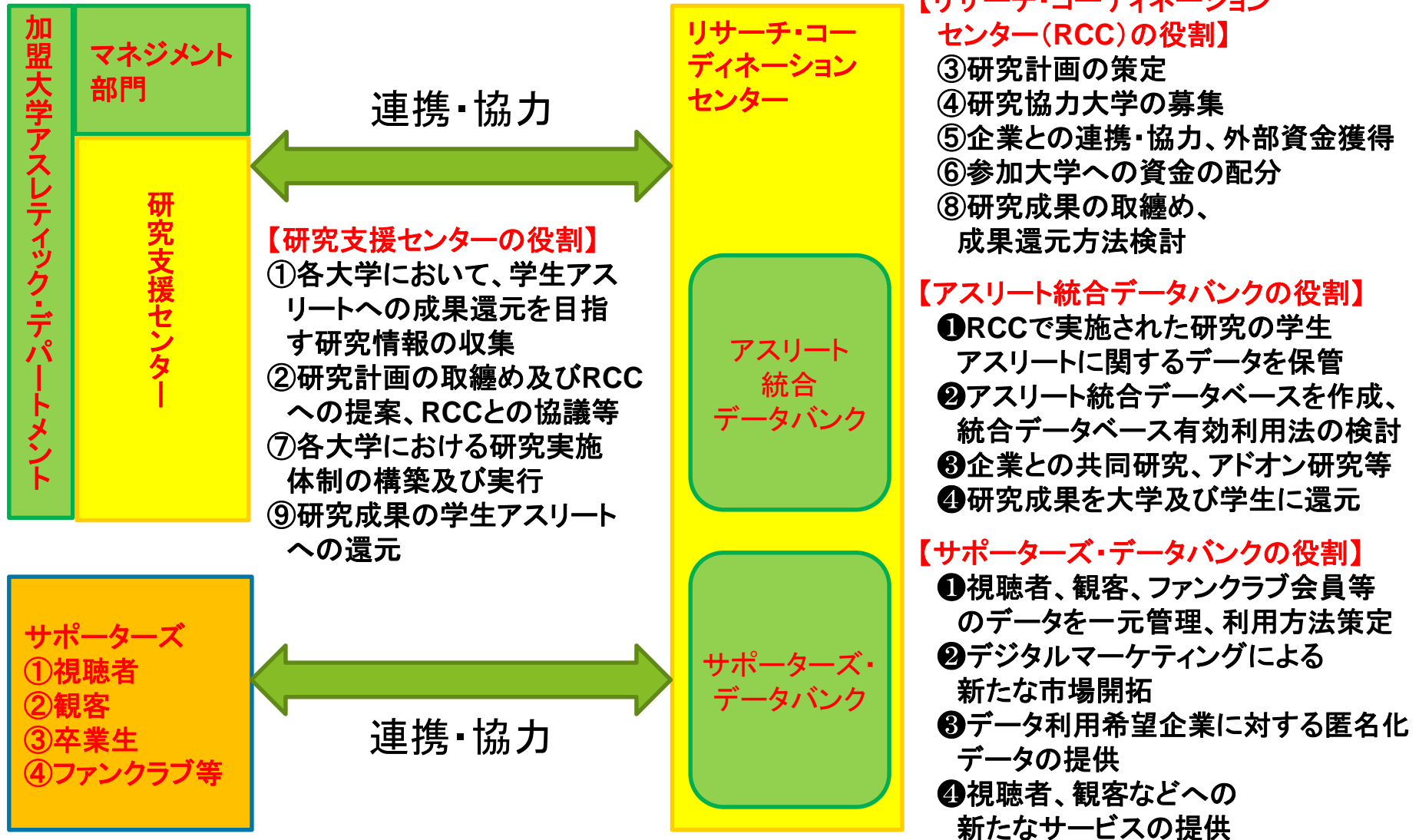
## テーマ

## 【事業・マーケティング】 個別データの管理・活用



テーマ

## 【事業・マーケティング】 個別データの管理・活用



テーマ

【事業・マーケティング】 シェアードサービスの提供

＜最終報告＞

<p>事業案</p>	<p>＜2019年度内＞                  ① UNIVAS公式サイトにおいて、地区大会を含めた約600試合のライブ配信や、企画動画コンテンツの配信を行います。                  ＜2019年度以降＞                  ② プラットフォーム・サービスの拡充                  →決済機能やサポート機能も将来的に拡充予定</p>
<p>事業の意義</p>	<p>映像(ライブ、特集映像)、記事などが配信されることで、大学スポーツと、一般学生、OB、OG、さらには生活者まで、接点が飛躍的に拡大します。                  プラットフォームが構築されることで、それまで個別の大学、学連ごとに負担となっていた実務が軽減されると同時に、パートナー企業によるサービス展開がしやすくなることで、収益面も向上します。</p>
<p>加盟大学・競技団体が2019年度より実施する事項</p>	<p>該当なし</p>
<p>担当部署</p>	<p>事業運営委員会－シェアードサービス部会(仮)</p>
<p>開始時期</p>	<p>① 2019年の設立とともに順次、スタート                  ② 学生・指導責任者の登録システムの構築と合わせ、2020年4月を目標に</p>
<p>今年度成果物</p>	<p>映像配信計画・カレンダー</p>

## テーマ 【事業・マーケティング】 シェアードサービスの提供

### ＜添付資料＞

#### 配信コンテンツ(案)

##### ライブ配信(試合映像)

各競技の試合のライブ配信を実施。**年間600試合程度**の試合映像を制作配信。(設立時に加盟した競技団体を想定)

##### 企画動画コンテンツ(密着ドキュメンタリーなど)

各大学の注目アスリートの密着ドキュメンタリーなど、企画動画コンテンツを制作配信

#### ＜PC画面イメージ＞



#### ＜スマホブラウザイメージ＞



※画面はあくまでイメージです。

※試合のライブ配信については、UNIVAS公式ホームページだけでなく、学生スポーツに実績のあるSPORTSBULL他、優良スポーツ関連サイトでも配信していく予定。



## テーマ

### 【事業・マーケティング】 大学SA支援、マーケティング・会計ルールに関するガイドライン整備

#### <最終報告>

事業案	<2019年度内> 大学におけるアスレチックデパートメント局設置やスポーツアドミニストレーター配置に係る手引書を整備・展開します。
事業の意義	各大学内で実施すべき事柄や備えるべき機能が明確になり、大学スポーツの推進に向けた体制の構築が促進されます。
加盟大学・競技団体が2019年度より実施する事項	UNIVASと情報等をやりとりする窓口の設置(対象:大学・競技団体)
担当部署	総合推進委員会(仮) 等
開始時期	2019年3月以降公開予定、各大学内で順次整備
今年度成果物	大学スポーツ振興に向けた学内整備のための手引書(案)

## テーマ

## 【事業・マーケティング】 大学SA支援、マーケティング・会計ルールに関するガイドライン整備

## ＜添付資料＞

## 大学スポーツ振興に向けた学内整備のための手引書(案)

## 第1章 AD局の概要

1. AD局とは
2. AD局設置により期待される効果

## 第2章 AD局の役割

1. 学内スポーツのガバナンス
2. 学業の充実
3. 安全・安心な大学スポーツ環境の整備
4. 大学スポーツの推進事業とマーケティング

## 第3章 AD局の組織整備

1. AD局の設置
2. SAの配置

※UNIVASへの加盟にあたり、アスレチックデパートメント局(AD局)の設置やスポーツアドミニストレーター(SA)の配置は必須ではありません。  
手引書は、各大学がAD局の設置、SAの配置、各機能の充実を図る際に参考となる情報を示します。

## テーマ

## 【事業・マーケティング】 広報戦略の策定・展開

### ＜最終報告＞

広報作業部会 の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>UNIVAS設立に向けて認知のすそ野を広げ、その理念や社会的意義および事業内容を広く啓蒙していく</li> <li>大学（法人・学生）、競技団体、スポンサー企業など各関係者の知りたい具体的情報をタイムリーに発信する</li> <li>社会一般に対しても「UNIVASができることで日本の大学スポーツの何がどう変わっていくのか」をわかりやすく伝える</li> </ul>			
実現に向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>各作業部会との緊密な連携に基づき、継続的に広報戦略と施策を立案し展開する</li> <li>情報発信およびシェアードサービス提供の基盤となるUNIVAS公式ホームページを2019年2月に開設、また学生など若年層向けにSNSを活用して効果的なコミュニケーション活動を行う</li> <li>既存メディアを通じた幅広い情報発信と、UNIVASアンバサダー（仮称）などによるオウンドメディア情報伝搬を併走させる</li> </ul>			
戦略	準備期間 (7月～9月)	広報戦略策定と基本的な活動展開 (10月～2019年2月)	UNIVAS 設立前後のキックオフ・ 広報イベント (2019年1月～3月)	継続・発展・進化 (2019年3月～)
	作業部会および主査会議	PRトピックスの掘り起こしとプランニング		
	公式ホームページ製作	10月：製作者（スポーツブル）決定⇒10月～1月：デザインおよびサイト構造確定・製作⇒2月～：公式HP開設		
	スポーツ庁広報との連携からUNIVAS広報へ移行	ロゴマーク公募・プレスキット開発 (基礎資料・スポークスパーソン設定)	メディアリレーションズ ・設立発表記者会見 ・個別取材 ・プレスリリース	試合動画配信 + オウンドメディア発信
	大学・競技団体・企業向けコミュニケーションプロ세스確定	各関係者ごとに最適なコミュニケーション媒体を選択し広報活動展開	シンポジウム	・個別取材 ・プレスリリース ・大学連携企画 ・競技団体連携企画 ・スポンサー連携企画
	社会一般および大学スポーツファン層に対する情報共有システム構築	スポーツ解説者・ライターなどスポーツ界・世論醸成に影響力ある人々の理解促進	キャンペーン	
	SNS (Twitter、Facebook、Line、YouTube、Instagramなど) やUNIVASアンバサダー（仮称）活用広報			

目標達成

**テーマ 【事業・マーケティング】 広報戦略の策定・展開****<実施結果報告>**

- 1 ホームページ制作会社の選定  
公募の結果、運動通信社(スポーツブル)に決定
- 2 ホームページ基本デザイン作成開始
- 3 スポーツ論説懇談会の実施  
12月6日(木)
- 4 スポーツ庁Web広報マガジン「DEPORTARE」  
UNIVAS設立！ー期待される大学スポーツの新時代へ

## テーマ

## 【事業・マーケティング】 パートナー・スポンサープログラム

### <パートナー・スポンサー候補企業との商談進捗状況(2/25現在)>

業種	11/7 企業説明会参加	12/26 商談中の企業	有力見込み企業
保険	7	5	1
旅行・鉄道・航空	8	5	2
スポーツ用品	5	1	1
美容健康製薬	9	3	1
電気・機器	9	4	1
教育・人材	5	5	3
IT	8	3	
建設・建築	5	2	1
通信	3	1	1
その他業種	6	4	3
広告代理店	4	2	
総研・コンサル	4	2	
芸能・制作	3	1	
出版	3	0	
マスコミ	10	4	
大学・連盟	5	0	
■合計	93	42	14